

# 昭和 地域ニュース

No. 52

令和6年(2024年)

5月号

発行 中野区昭阳区民活動センター運営委員会  
編集 広報部会 昭和地域ニュース編集会議  
〒164-0001 中野区中野 6-16-20  
TEL: 03(3368)8164  
FAX: 03(3368)8168  
E-mail: nakano\_showa@nifty.com  
http://www.nakano-showa.gr.jp/



我が家のアイドルちはる7歳。ホオミドリアカオウロコインコの女の子。ビビリで人見知りで寂しがりな甘えん坊ですが、撫で方がお気に召さないと噛んでくる勝気な面も。

## 文園地域物語 ②

前号に引き続き、少し前の中野 6 丁目周辺文園地域のお話です。思い出は尽きることなく、皆さま、たくさんのお話をしてくださいました。お楽しみください。

### ■文園地域と周辺

山田：昭和30年代のアパートは文化アパートと言って、トイレは共同で台所は部屋にあるというものでした。文園地域にも、昭南荘というのがありました。



山田恵一さん

佐々木：町会のレクリエーションで、三峰神社の宿坊に泊ったことがありました。川で泳いだりしましたね。

田中：当時の昭和出張所で講演会があると、講師の真前でメモを取り、最後はきちんと挨拶して帰る100歳近くの女性がいらっしやっただけを思い出します。

田村：天神湯の所には、赤い太鼓橋がありましたが、覚えていますか。太鼓堂という駄菓子屋さんもありました。

徳江：もう一つ橋がありましたよね。私がここへ来たばかりの頃。中野駅から川伝いに来て、橋を渡りました。

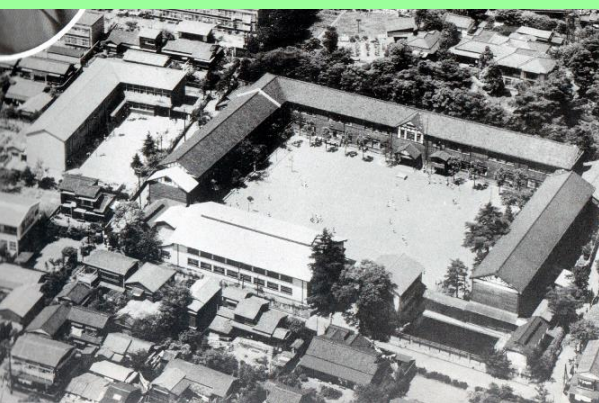
田村：大日橋は早稲田通りの向こうですね。あそこも細い川でしたが、今は暗渠になっています。

田中：昭和地区と上高田地区の境ですね。

田村：文園は商店が少なかったけれど、天神商店街はスリが出るくらい人出が多くて、私服警官が見回りしていたと聞きました。昔は割烹着に買い物かごというスタイルだったから、スリもしやすかったんでしょう。アパートの靴箱が外にあると、靴を持っていかれたりしました。

### ■子どもの頃の遊び場

山田：踏切の辺りで列車がスピードを落とすんですが、立川から新宿に行く在日米軍がはらっぱで遊んでいた我々に、チョコレートを持ってよこしたんです。チョコレートを持って帰ると母に怒られるので、物置に隠れて食べたものです。チューインガムはシナモン味で、チョコレートはブラックでした。その後ミルクチョコレートを食べ、アメリカのチョコは苦かったな、と思いました。米軍の帽子はかっこよかったです。



『桃園第二小学校 1963年卒業アルバム』より

佐々木：その頃、線路に入っただけでいけなかったと言われていたんですが、簡単に入れたんです。運転士が、子どもに気付くと警笛を鳴らすので草むらに逃げ込みましたね。五寸釘を線路の上に置いて、つぶれたものを手裏剣にして遊びました。飛んでいかにないように、釘の頭をひもで結わえておいて。今は、絶対やってはいけなかった遊びですが。

山田：若い頃、年末の12月15日から31日には、一晩に2回、二人一組で火の用心の夜回りをしました。合計3,000円ぐらいもらえましたよ。いいアルバイトでしたね。それにもらい物が多くて、飴とかチョコレート。皆さんが待っていて、戸を開けて「ご苦労さん」と言って、もらえました。

佐々木：今はお金ではなく、手作りのおでんなどを提供しています。

山田：昔は隣近所、皆顔がわかっていましたよね。今は全然わからない。

佐々木：遊び場は、いっぱいありました。今の天神様の屋根があるところは、卓球場でした。風が強い時には、卓球はできませんでした。その前には土俵がありました。

田村：よくビー玉やメンコなどで遊んだものです。

菅野(かんの)：昔は広場がいっぱいあって、子どもたちがよく遊んでいましたね。

田中：菅野さんのところはお子さんが多くて、仲の良いご兄弟でした。



菅野ミエ子さん

### ■小学校、中学校

山田：現在のもみじやま通りはちょうど、中野三中と中野九中の学校区の境でした。九中と中央中は並んでいたけれど、九中がこちらに引越しました。生徒が多かった時代でした。

田村：私が中野三中の時には1学年10クラスもありました。12クラスあったこともあるそうです。桃二小は4クラスとか5クラスで、一クラス50人くらいいたから、参観日は大変でした。今は30人ぐらいですよ。

山田：桃二小の校舎は木造の二階建てで、真ん中に時計がありました。南側の正門から真っすぐ入ると両側に長い廊下があったことを、未だに夢に見ます。校舎が増築され、新校舎と呼んでいました。給食室は今と同じ場所で、いい匂いがしました。その頃は脱脂粉乳でした。

田中：鼻をつまんで飲みましたね。

田村：あれで、健康に育ったんですよ。中学に行ったら牛乳でした。給食はなくてお弁当。

山田：天神様の近くに、興真牛乳という牛乳屋さんがあった時には、皆配達してもらいました。

佐々木：ラーメン屋の藤華さんの所には焼き芋屋があって、つぼ焼きで1年中やってました。

山田：もみじやま通りは今の半分くらいの幅で、新井道ガードに屋根が引かかるからバスが通れなかった。中野駅の改装をするので通ったことがあって、その時はうれしかったです。

佐々木：汽車が通る前、馬を叩いて加速をつけていかなかったと上がれなかったそうです。その辺を開発したら馬頭観音が埋まっていたそうです。今、早稲田通りのにじいろなかの学童クラブの隣のマンションの角に、馬頭観音の碑があります。



佐々木孝一さん

山田：天神様は新井薬師と杉並堀之内のお祖師様(妙法寺)に行く道の道しるべで、天神様の所で道が二股に分かれていた、と聞きました。

佐々木：昔は青梅街道から新井薬師の屋根が見えたそうです。新井薬師は目の神様だから行こう、ということで歩いていくと結構遠いので、休憩所として天神様ができたと聞いたことがあります。子どもの頃には、入ってすぐの所に井戸がありました。以前は天神様の西側の道ではなく、東側の道が正規の道だったんです。

山田：細長い石をきれいに並べた道でした。

佐々木：天神様は江戸時代くらいからあったらしい。

田村：天神の商店街は賑やかで、肉屋や魚屋がたくさんありました。

山田：佐々木さんのお店、やぶ浅さんは当時はおそばだけでなく、ラーメンもやっていたんですね。よく鯉節の荒削りを干していたのを思い出します。

### ■繋げることの大切さ

田村：お祭りの時に見ると、文園には今でも若い人が結構いますね。

田中：町会には40数年お世話になって、会長も10年やりましたが、役員の中で引越したなどで辞める方がいたら、必ず補充してきました。次の方を入れて、困らないようにして繋げてきました。



田中洋子さん

町会長は、定年後ある程度時間ができた方がやってくれるといいですね。文園町会の役員は80歳定年制があります。文園町会は皆仲良く、婦人部も青年部も子どもとともに進む会も友愛クラブも、一緒に活動しています。いろいろな人に助けられてここまで来ました。ありがとうございました。